

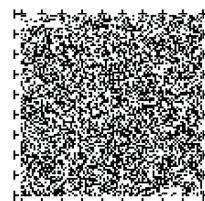
公益社団法人

広島県パラスポーツ協会

HIROSHIMA PARA SPORTS ASSOCIATION

広報誌 29号 発行日
令和7年12月25日

#パラスポーツって、
おもしろい！



協会主催事業の「広島県障害者陸上競技大会」を東広島運動公園陸上競技場で実施しました。

今年度で19回目となる本大会は、県内各地から約260名の選手が参加し、50m走やソフトボール投げ、スラロームなど多彩な種目で熱戦が繰り広げられました。

季節外れの強い日差しの中、選手の皆さんは、日頃の練習の成果を発揮し、自己ベストを目指して懸命に競技に臨んでいました。

競技場には力強い声援と拍手が響き渡り、会場全体は温かな一体感に包まれました。



選手代表による開会宣言

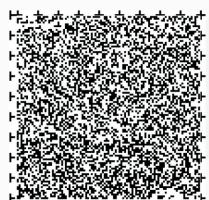


大会の中では、東京パラリンピックに出場された白砂匠庸選手と、県内で活躍する選手による、やり投げのデモンストレーションが行われました。トップアスリートの迫力あるパフォーマンスに、観客からは大きな歓声と拍手が送られました。

今大会は、全国障害者スポーツ大会の予選会も兼ねており、この大会の結果をもとに選出された選手の皆さんは、2025年10月25日～27日に滋賀県で開催された全国障害者スポーツ大会に、広島県代表として出場し、全国の舞台で堂々と競技に臨み、素晴らしい活躍をされました。



本大会の運営には、陸上競技協会をはじめ、大学、企業などから約200名の方々にご協力をいただきました。大会の円滑な進行と温かなサポートをいただき、心より感謝申し上げます。そして、ご参加いただいた選手の皆さん、ご来場いただいた皆さん、大会運営に携わってくださったすべての関係者の皆さんに、深く御礼申し上げます。



令和8年度に青森県で開催される「第25回全国障害者スポーツ大会『青の煌めきあおもり障スポ』」の広島県代表選手選考会を兼ねて実施された各種競技大会では、来年度の大会出場に向けて選手の皆さんは日頃の練習の成果を発揮しました。

主催：広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター

**■第25回
広島県障害者フライングディスク競技大会
実施日：令和7年6月22日(日)**

障害や年齢を問わず、多くの人に親しまれているフライングディスク。今年度で25回目となる大会では、正確性を競うアキュラシーと距離を競うディスタンスの2種目を実施しました。

多くの出場者によって、純白のディスクがきれいな弧を描いていました。



**■第30回
広島県障害者卓球大会（身体障害の部）
実施日：令和7年7月27日(日)**

各コート、第1試合から見ごたえのある好試合が繰り広げられ、素晴らしいプレーに多くの歓声が沸き起こった大会でした。

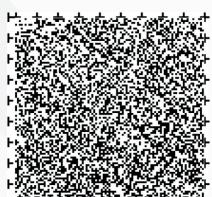


**■第30回
広島県障害者卓球大会
(知的障害者・精神障害者の部)
実施日：令和7年10月19日(日)**

今大会は、80名を超える選手のエントリーのもと開催されました。

近年、特別支援学校の生徒の皆さんの出場が増え、新たな風が吹きこまれた大会となりました。

また、多くの方が観戦に来てくださいり、各コートでは選手一人ひとりのプレーに大きな拍手が送られていました。



ボランティア育成支援事業 学生パラスポーツ交流会・ボッチャ審判講習会

協会のボランティア育成支援事業の一環として、「学生パラスポーツ交流会・ボッチャ審判講習会」を広島県立総合体育館で開催しました。

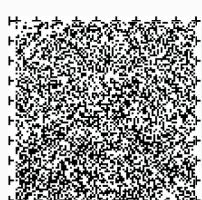
この事業は、パラスポーツやボランティアに関心のある学生が、主体的にパラスポーツの振興に関わることを目的としています。今年度で3回目となる交流会では、広島県内の大学、医療・福祉・スポーツに関わる専門学校、全45校に募り、計28名が参加しました。



全3部制で進行した交流会の第1部は、誰もが共に野球を楽しめる「ユニバーサル野球」を開発した堀江車輌電装株式会社の中村哲郎氏を講師に招き、パラスポーツをボランティアから自らの仕事へ展開した経緯や、パラスポーツへの想いをお話いただきました。学生同士の交流を深めるグループワークでは、学生から「全員でパラスポーツ協会のボランティアに参加しよう！」という前向きな発言が出る場面もありました。学生にとって、パラスポーツに関わる手段として多様な選択肢があることを学ぶ貴重な機会になりました。



第2部では、一般社団法人広島県ボッチャ協会主催「ボッチャ審判講習会」を開催しました。ボッチャ協会指導のもと、コートづくりや基礎的なルール、審判の専門的な知識を学び、より実践的な関わり方を知る機会となりました。



第3部では、「する・みる・ささえる」の視点から、ボッチャに関わる仲間を増やすためのイベントを企画するグループワークを行いました。学生からは、ボッチャの普及に向けた多様なアイデアが発表され、講評されたボッチャ協会からは、感心の声と高い評価をいただきました。

参加学生からのアンケートでは、約9割が「非常に満足している」と回答があり、学校の垣根を超えた学生同士の交流や、パラスポーツへの理解を深めるきっかけの場となったことが満足度が高い結果となりました。

協会では、学生がこの交流会に参加した後も、継続的にパラスポーツへの関わりを持ってもらうために、年間を通して参加できる事業の情報を発信し、今年は3イベント・大会に、計27名がボランティアとして関わっていただきました。学生の皆さん、今後の活躍を期待しています！

PICKUP
4

第9回特別支援学校スポーツ交流会

実施日：令和7年9月7日(日)

広島県立総合体育館小アリーナで「第9回広島県特別支援学校スポーツ交流会」が行われました。

この交流会は、事務局校（今年度は広島市立特別支援学校）が中心となり、学校間の交流、生徒の皆さんがスポーツへの興味や関心を高めること、そして日頃の練習の成果を発揮することを目的に毎年開催されています。

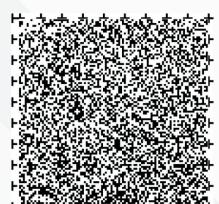
今年の参加者は県内12校から150人、家族や応援が200人を超えるなか、バスケットボールとボッチャで交流しました。

バスケットボールでは、スピード感あふれるプレーに大きな声援が送られ、会場が一体となり、とても盛り上がっていました。

ボッチャは、3対3の団体戦が行われ、ジャックボールを狙って頭脳戦が繰り広げられました。

また、審判には県内の大学生やパラスポーツ指導員にご協力をいただきました。

この日のために練習してきた選手の皆さんには、他校の生徒とともに汗を流し、勝利の喜びや仲間と一緒にスポーツをする楽しさを実感した一日になりました。



インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025

障害の有無にかかわらず誰もが参画し楽しむことができるイベントとして、令和5年度からスタートした「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」（以下「フェスタ」という。）は、令和7年度で3回目の開催となり、廿日市市をメイン会場として、周辺4市町で、4,300名の参加者、観客、競技団体、協力企業、ボランティアが集まりました。

全5市町で12種目の競技体験会をはじめ、企業ブース、キッチンカーなどが出店し、笑顔あふれる楽しい時間を過ごすことができました。

協会においては、フェスタ開催によるパラスポーツの機運の高まりを契機とし、パラスポーツがさらに県民に広く浸透するよう、引き続き多様な主体と連携を図りながら取り組んでまいります。

1. 開会式

式典のオープニングアクトでは、地元廿日市市の県立廿日市特別支援学校、同阿品台分校の生徒の皆さんや、Mrs. GREEN APPLEの『StaRt』にのせて明るく元気なダンスを披露しました。また、県パラスポーツ協会会長、廿日市市スポーツ協会会長をはじめ、県知事や開催市町長のあいさつのほか、サポーターやパラアスリートから温かなエールが送られました。

■主催

- ・公益社団法人広島県パラスポーツ協会
- ・インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025実行委員会
- ・株式会社 中国新聞社

■会場

- ・メイン会場：廿日市市
- ・フジタスクエアまるくる大野
- ・安芸グランドホテル
- ・サブ会場：大竹市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町



生徒の皆さんによるダンスで盛り上がる会場



フェスタサポーターとゲストパラアスリートによるメッセージ

開会宣言は、広島県ろうあ連盟スポーツ委員会委員長の立川智隆さんの力強い手話とともに、令和7年11月に開催される「第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025」のPRを、同連盟の寺岡智宏さんが心を込めた手話で発信しました。



開会宣言

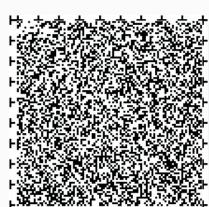


デフリンピックPR

式典の最後には、女子硬式野球チーム「はつかいちサンブレイズ」の甲斐田陽菜選手と北原千愛選手による「応援健康ダンス」が行われ、来場者の皆さんと一緒にダンスをし、会場を盛り上げました。



フェスタのオリジナルタオルを使って、参加者全員でダンス



実施日：令和7年9月27日(土)・28日(日) ※サブ会場の大竹市は10月13日(月・祝)、北広島町は10月19日(日)

2. ドローンサッカーエキシビションマッチ

日本ドローンサッカー連盟広島支部協力のもと行ったドローンサッカーエキシビションマッチでは、障害の有無を問わず同じフィールドで楽しみを共有できるバリアフリーな競技の魅力を、県知事や開催市町長、サポーター、パラアスリート、特別支援学校の生徒の皆さんが体験しました。

修道高等学校の生徒の皆さんによるデモンストレーションでは、世界大会レベルの技が繰り広げられ、高度な技の展開に会場の皆さんから歓声が上がっていました。



リング状のゴールにドローンを通すと1ポイント

3. 各種競技体験会・企業ブース

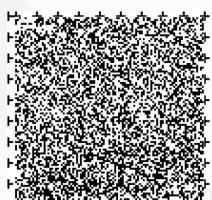
全5市町で12種目の競技体験会を実施し、家族や友人とともに体験会に参加した方々には、温かな笑顔があふれました。

ギンクの図書館では、トップ・パラアスリートの佐藤圭太選手指導のもと、走る楽しさ、喜びを感じてもらったほか、ボッチャではゲストパラアスリートの古満渉選手、パラクライミングでは日本代表の高畠圭吾選手が、試技のほか指導も行いました。

各体験会には、サポーターのサンフェッヂュニアアンバサダー森崎浩司さんや、はつかいちサンブレイズの選手をはじめ、ゲストパラアスリートの白砂匠庸選手が、競技の垣根を超えて、参加者と一緒に楽しみました。

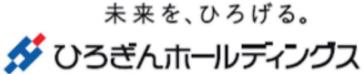


8企業・団体によるブースでは、ハロウィングッズのDIY体験をはじめ、電動車椅子「WHILL」の試乗のほか、デフリンピック開催にあたって手話が学べるブースなど、地元企業や団体が趣向を凝らした展示が行われ、多くの来場者で賑わいました。



インクルーシブ・スポーツ・フェスタ 広島2025 協賛企業団体

楽しく、守る。



村上農園

YMfg



もみじ銀行



わまだ屋

宮島ロープウエー ヤマネホールディングス株式会社

株式会社ザイエンス 株式会社山崎本社 株式会社エネコム 中国電力ネットワーク株式会社

株式会社中国放送 株式会社テレビ新広島 広島テレビ放送株式会社

株式会社広電宮島ガーデン フマキラー株式会社

株式会社ミカサ 宮島松大汽船株式会社

※協賛企業団体は、10万円以上を掲載させていただいております。※順不同 ※令和7年9月29日現在

(公社) 広島県パラスポーツ協会 法人賛助会員

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 合田産業株式会社 損害保険ジャパン株式会社

株式会社G Aパートナーズ 株式会社中国新聞社 中国電力株式会社

中国電力ネットワーク株式会社 株式会社中電工 テラルホールディングス株式会社

株式会社テレビ新広島 株式会社バルコム 広島ガス株式会社 広島信用金庫

株式会社広島ドラゴンフライズ 広島八谷建設株式会社

ヒロマツホールディングス株式会社 マツダ株式会社 株式会社ミカサ

株式会社村上農園 株式会社やまだ屋 ヤマネホールディングス株式会社

※賛助会員は、10口以上を掲載させていただいております。※順不同 ※令和7年9月29日現在

企業版ふるさと納税 × 広島県パラスポーツの推進



日本生命保険相互会社

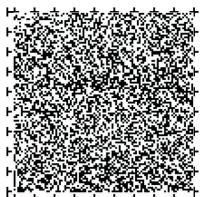
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社サンジュウナナド

※企業版ふるさと納税は、令和7年9月19日までに寄附申出書を広島県に提出された企業を掲載させていただいております。

日頃から県パラスポーツの推進事業にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当協会においては、障害の有無にかかわらず、誰もが参画し楽しむことで、パラスポーツの認知を高め、
スポーツを通じて多様性が尊重される共生社会（インクルーシブ社会）の実現を目指しています。

今年度、温かなご支援、ご協力を賜りました、企業様・団体様に厚くお礼申し上げます。



発行 公益社団法人 広島県パラスポーツ協会

□総務経理課・事業運営課

〒739-0036

広島県東広島市西条町田口295-3

スポーツ交流センター内

TEL : 082-426-3333

FAX : 082-425-6789

□企画推進課

〒730-8511

広島県広島市中区基町10-52

広島県庁スポーツ推進課内

TEL : 082-225-7380

FAX : 082-225-7386

代表メール : hiroshima-psa@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://hpsa.info/>

HPは二次元コードからも

アクセスができます！ →

